

出資法人等経営状況報告書

1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	令和元年 8 月 26 日	担当部署	産業観光交流部 施設経営管理室
-------	---------------	------	-----------------

※以下は平成 31 年 3 月 31 日現在の内容です。

2 法人等の概要

法人等名称	株式会社 みなもとの郷				
代表者名	代表取締役 内藤 潔				
	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤				
	<input checked="" type="checkbox"/> プロパー <input type="checkbox"/> 市派遣 <input type="checkbox"/> 市兼務 <input type="checkbox"/> その他				
所在地	新潟県上越市吉川区坪野 1458 番地 2				
設立年月日	平成 12 年 2 月 9 日	資本金	10,000 千円	市出資割合	51.0%
設立目的	吉川区源地域を中心とした中山間地の産業振興を目的に、市の所有若しくは管理する不動産及び入浴施設その他の施設の管理運営を行うため。				

3 組織

(単位：人)

		理事・ 取締役	監事・ 監査役	計	内訳			
					プロパー	市派遣	市兼務	その他
役員	常勤	1	—	1	1			
	非常勤	5	1	6				6
	計	6	1	7	1			6
職員	正職員	—	—	2	2			
	臨時職員	—	—	7	7			
	パート職員等	—	—	14	14			
	計	—	—	23	23			

4 主な事業

(1) 吉川スカイトピア遊ランドの管理運営
(2) 吉川緑地等利用施設の管理運営
(3) 吉川地域バス運行事業の運行业務受託
(4) 吉川観光協会の事務受託
(5) 尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会の事務受託
(6)
(7)

5 事業実績（概要）

【第20期（平成30年度）の事業報告】

- ・ 第20期の営業収益（売上高）は、前期との比較で1,377千円増（2.9%の増）の46,836千円となりました。自主イベントの開催やホームページ等を活用したPR活動に取り組み、スカイトピア遊ランドの宿泊及び入浴利用者の増加に繋がったことや、道の駅よしかわ杜氏の郷における収益の拡充に努めたことなどにより、営業収益が増収となりました。
- ・ 営業費用は、一般管理費・販売費の経費削減に努めたものの、施設利用者の増加に伴う売上原価の増加により、前期との比較で1,279千円増（2.8%の増）の46,766千円となりました。
- ・ この結果、第20期の当期純利益は73千円となり、前期に引き続き単年度黒字を達成するとともに、当期末において累積欠損金を解消し、利益剰余金55千円を計上するに至りました。

【取組内容】

- ・ 尾神地区の自然や歴史、文化を活かした誘客活動と都市交流事業を推進
- ・ 上越市域、柏崎市域を視野に入れた体験事業の拡充
- ・ 地産地消を心掛けた料理の提供等によるサービスの向上

【施設の利用実績】

○ 吉川スカイトピア遊ランド

（単位：人）

	第18期		第19期		第20期		
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
宿泊	1,460	1,713	1,510	1,616	1,560	1,687	
休憩（食堂）	4,300	4,806	4,350	4,834	4,500	5,103	
体験交流センター	入館者（入浴）	2,400	2,507	2,300	2,545	2,400	2,734
	体験者	640	748	690	734	740	421
小計	8,800	9,774	8,850	9,729	9,200	9,945	

- ・ 吉川スカイトピア遊ランドの利用者数は、全体で9,945人となり、前期と比較して216人の増（2.2%の増）となりました。このうち、宿泊の利用者数は1,687人となり、前期と比較して71人の増（4.4%の増）となりました。

○ 吉川緑地等利用施設

（単位：人）

	第18期		第19期		第20期	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
見はらし荘	980	888	1,030	725	1,140	697
スポーツスライド	700	1,149	800	962	840	495
キャンプ場	20	34	20	52	20	55
小計	1,700	2,071	1,850	1,739	2,000	1,247

- ・ 吉川緑地等利用施設の利用者数は、全体で1,247人となり、前期と比較して492人の減（28.3%の減）となりました。このうち、スポーツスライドの利用者数は495人となり、前期と比較して467人の減（48.5%の減）となりました。

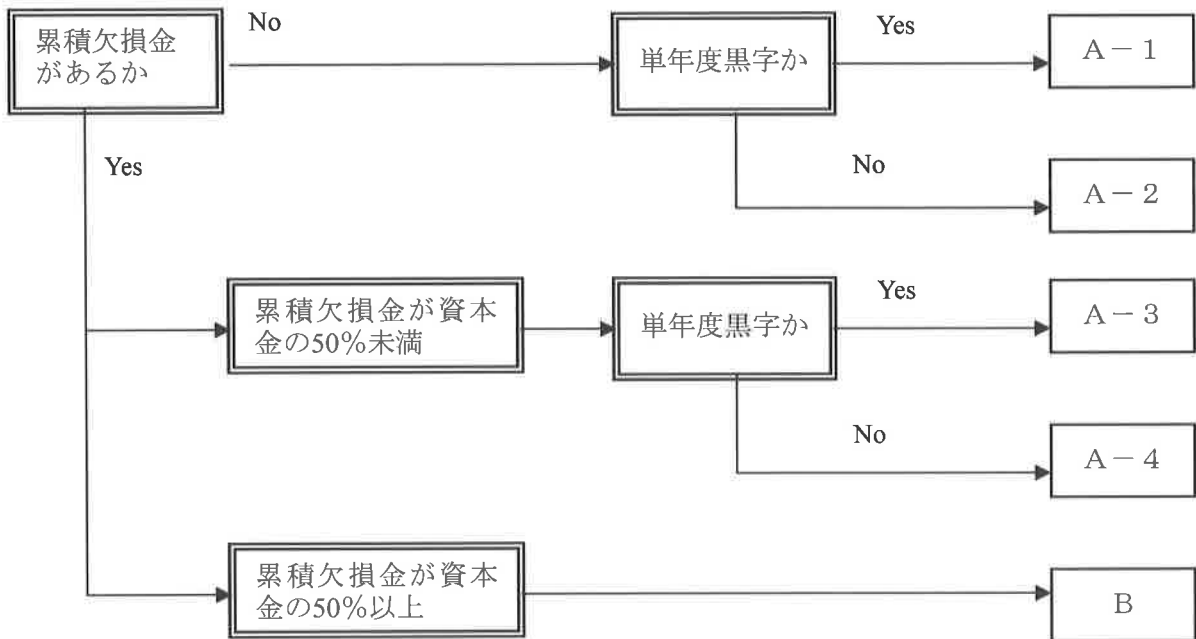
6 財務状況

(単位:千円)

項 目		第 18 期	第 19 期	第 20 期	備 考
		自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日	自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 3 月 31 日	自 平成 30 年 4 月 1 日 至 平成 31 年 3 月 31 日	
損益計算書	営業収益 (売上高)	46,565	45,499	46,836	
	営業費用	46,595	45,487	46,766	
	売上原価	11,422	10,451	10,993	
	一般管理費・販売費	35,173	35,036	35,773	
	営業利益	△30	12	70	
	営業外収益	64	73	73	
	営業外費用	0	0	0	
	経常利益	34	85	143	
	特別利益	0	0	0	
	特別損失	0	0	0	
	税引前当期純利益	34	85	143	
	法人税等	70	70	70	
当期純利益	△36	15	73		
項 目		平成 29 年 3 月 31 日現在	平成 30 年 3 月 31 日現在	平成 31 年 3 月 31 日現在	備 考
貸借対照表	資 産	12,299	12,847	13,089	
	負 債	2,332	2,865	3,034	
	純資産	9,967	9,982	10,055	
	資本金	10,000	10,000	10,000	
	剰余金・欠損金	△33	△18	55	
その他	0	0	0		

7 経営状況の予備的診断

予備的診断フロー



評価	A-1
----	-----

評価基準		備考
A-1	累積欠損金がなく、単年度黒字の場合	引き続き経営努力を行う。
A-2	累積欠損金がなく、単年度赤字の場合	複数年の経過を注視しながら引き続き経営努力を行う。
A-3	累積欠損金が資本金の50%未満で、単年度黒字の場合	経営改善の努力を要する。
A-4	累積欠損金が資本金の50%未満で、単年度赤字の場合	経営改善の一層の努力を要する。
B	累積欠損金が資本金の50%以上の場合	事業の見直し等も含めた抜本的な経営改善を要する。

※ この評価に関連する特殊な事情又は要因など特記すべき事項

第20期（平成30年度）において、単年度黒字を計上し、累積欠損金を解消したことから、経営状況の予備的診断は、前期のA-3から、当期はA-1に改善されました。

8 市の関与の状況

(1) 市の委託額

(単位：千円)

内訳		平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
①	吉川スカイトピア遊ランド 指定管理委託料	2,533	2,533	2,533	
②	吉川緑地等利用施設 指定管理委託料	1,960	1,960	1,960	
③	吉川地域バス運行業務委託料	4,648	4,552	4,577	
計		9,141	9,045	9,070	

(2) 市の財政援助額

(単位：千円)

内訳		平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
①	補助金（助成金）	0	0	0	
②	貸付金	0	0	0	
③	損失補償	0	0	0	
④	債務保証	0	0	0	
⑤	その他（補填金）	190	205	240	シニアパスポート減免補填分
計		190	205	240	

9 今後の経営計画等

(1) 次期事業計画

【事業計画】

第21期（令和元年度）は、売上高44,600千円、営業利益黒字化の継続を目標に掲げ、次の事業展開を図るとともに、更なる営業活動と経費の削減に努めることとする。

- ① 棚田オーナー事業やそばオーナー事業など各種交流事業を展開し、誘客を図る。
- ② 各種パラグライダー大会を開催し、スカイスports愛好家を介したPR活動に努める。
- ③ 農業体験や田舎体験、その他各種体験事業を展開し、地域との連携を深め、誘客を図る。
- ④ 「山菜祭り」などの各種イベントを企画・開催し、年間を通じた施設の利用を促す。
- ⑤ 接客サービスの拡充に努めるとともに、経費削減に取り組み、経営改善を図る。

【集客目標】

(単位：人)

吉川スカイトピア遊ランド		吉川緑地等利用施設	
宿泊	1,650	見はらし荘	900
休憩（食堂）	4,300	スポーツスライド	1,000
体験交流 センター	入館者（入浴） 2,600 体験者 750	合計	1,900
合計	9,300		

(2) 中長期経営計画

なし

第20期 営業報告書

株式会社 みなもとの郷

概況等

- (1) 当社は、上越市吉川区尾神岳エリアの観光関連施設としてのスカイトピア遊ランド並びに緑地等利用施設の管理運営を主体として、吉川地域バスの運行業務や尾神岳スカイスポーツエリアの管理運営、加えて吉川観光協会や顕法寺城址で狼煙を上げる会、水源地域振興対策協議会、尾神岳ファンクラブ、吉川おどり隊の事務局を担い、地域の諸課題に向き合い積極的に各種事業等を展開しながら、雇用の場の創出と地域の活性化に寄与することを重点目標とした経営に努めています。

しかしながら、その経営は山間地で積雪が多いという立地条件や交通アクセスも悪く地域の過疎化・人口の高齢化が急速に進んでいることにより相変わらず厳しい経営がしいられています。

このような厳しい状況を何とか打開し、経営の立て直しを図るために、役員一丸となった営業努力と経費削減に取り組みながら安定経営を目指して頑張っています。

- (2) 具体的には、豊かな自然や地域の歴史・文化を活かしながらの誘客に力点を置き、都市交流事業の推進や近年取り組みを始めたゲートボール大会の誘致、長峰道の駅へのアンテナショップを通じたPRなどの成果に加え、地産池消に心掛けた料理の提供や接客サービスの向上を目指して進め、リピーター率が着実に向上してきているものと考えています。

また、昨年のアジア体育大会でパラグライダーが正式競技入りし、特に当エリアの愛好者が数多く上位入賞したこと、そして秋の県知事杯パラ大会には花角知事、村山市長、高鳥・塚田両副大臣、多くの県会議員、市会議員のご来賓を迎えてのパライベントを契機に当エリアの振興に配慮した経営にも努めてきています。

- (3) 取締役会の開催につきましては、課題等が生じた場合にのみ必要に応じて開催することとし、定期的開催は行わないこととしています。

急を要する場合は持ち回り協議等で対応させていただくこととしていますが、当期はその必要もなく前期の株主総会以降6月17日、12月24日、6月10日と3回開催いたしました。

- (4) ① 今期（平成 30 年度）の営業収益（売上高）は、46,836 千円であり、前期営業収益（売上高）との比較で 1,377 千円の増（約 2.9%の増）となりました。この数値は、年度当初に計画しお示した数値（44,500 千円）を上回り、目標を達成したものとなりました。
- ② 営業費用は、人件費や燃料費等の抑制に引き続き努めながらもサービスの低下とならないように切り詰めた結果 46,766 千円となり、営業収益（売上高）を若干下回る数値となりました。
- ③ 当期は、経常利益が 143 千円となり、結果としてわずかではありますが税引後の当期純利益が 73 千円となったところであります。

決算報告書

(第 20 期)

自 平成 30 年 4 月 1 日

至 平成 31 年 3 月 31 日

(株)みなもとの郷

新潟県上越市吉川区坪野1458

貸借対照表

平成 31 年 3 月 31 日現在

単位 円

	資 産 の 部	
【 流 動 資 産 】		
現金及び預金	5,552,517	
売掛金	849,390	
商品	2,145,648	
前払費用	55,580	
未収金	378,106	
仮払金	30,000	
	流動資産合計	9,011,241
【 固 定 資 産 】		
(有形固定資産)		
建物	2,937,598	
建物附属設備	246,952	
機械装置	303,732	
車両運搬具	1	
工具・器具・備品	186,438	
構築物	155,922	
	有形固定資産合計	3,830,643
(投資その他の資産)		
出資金	1,000	
	投資その他の資産合計	1,000
	固定資産合計	3,831,643
【 繰 延 資 産 】		
開業費	246,582	
	繰延資産合計	246,582
	資産の部合計	13,089,466
	負 債 の 部	
【 流 動 負 債 】		
買掛金	286,891	
未払費用	1,870,792	
未払法人税等	70,000	
未払消費税等	582,900	
預り金	223,740	
	流動負債合計	3,034,323
	負債の部合計	3,034,323
	純 資 産 の 部	
【 株 主 資 本 】		
(資 本 金)		
資本金	10,000,000	

(利益剰余金)	資本金合計	10,000,000	
繰越利益剰余金		55,143	
	利益剰余金合計	<u>55,143</u>	
	株主資本合計		10,055,143
	純資産の部合計		<u>10,055,143</u>
	負債及び純資産の部合計		<u>13,089,466</u>

損益計算書

自 平成 30 年 4 月 1 日
至 平成 31 年 3 月 31 日

単位 円

【純売上高】			
売上1 (遊ランド)	37,874,930		
売上2 (見晴し・ボブスレー)	2,773,610		
売上3 (地域バス)	4,577,377		
売上4 (道の駅)	1,609,860		
			46,835,777
【売上原価】			
期首商品棚卸高	1,990,983		
仕入1 (一般)	10,969,712		
仕入3 (道の駅店)	177,666		
合計	13,138,361		
期末商品棚卸高	2,145,648		
			10,992,713
	売上総利益		<u>35,843,064</u>
【販売費及び一般管理費】			
	営業利益		<u>35,772,876</u>
【営業外収益】			
受取利息	22		
雑収入	72,879		
			70,188
	経常利益		<u>72,901</u>
	税引前当期純利益		<u>143,089</u>
	法人税、住民税及び事業税		70,000
	当期純利益		<u>73,089</u>

販売費及び一般管理費

自 平成 30 年 4 月 1 日
至 平成 31 年 3 月 31 日

単位 円

荷給法福租水通広接損修消減支車リ諸設環雑	造与定利厚税道信告待害繕耗価払一	運賃福利厚生公光熱信宣交保繕品償手両	賃金費費課費費費費費費費費費費費	60,076
				22,462,659
				893,365
				270,142
				1,426,831
				4,374,445
				508,948
				80,598
				101,271
				134,570
				184,013
				1,110,694
				410,439
				1,069,571
				1,044,354
				195,960
				110,560
				598,984
				539,655
				195,741

販売費及び一般管理費

35,772,876

株主資本等変動計算書

自 平成 30 年 4 月 1 日
至 平成 31 年 3 月 31 日

単位 円

	株主資本				純資産合計
	資本金	利益剰余金		株主資本合計	
		その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	10,000,000	△17,946	△17,946	9,982,054	9,982,054
当期変動額					
当期純損益金		73,089	73,089	73,089	73,089
当期変動額合計		73,089	73,089	73,089	73,089
当期末残高	10,000,000	55,143	55,143	10,055,143	10,055,143

個 別 注 記 表

自 平成 30 年 4 月 1 日
至 平成 31 年 3 月 31 日

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

 たな卸資産の評価基準及び評価方法

 最終仕入原価法を採用しております。

固定資産の減価償却の方法

 定額法又は旧定額法及び定率法又は旧定率法を採用しております。

会計処理の原則又は手続の変更

 消費税の会計処理は税込方式を採用しております。

II. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額

8,314,230円

監査報告書

第20期決算監査の結果、貸借対照表、損益計算書および利益処分について、いずれも適法かつ正確であることを認めます。

令和元年6月10日

株式会社みなもとの郷

監査役 中 村 久 人



第 2 1 期 事業計画

株式会社 みなもとの郷

当社の経営は、山間地に存するという立地条件や行き止まり等の道路条件に加え、積雪が多く、過疎化・人口の高齢化が急速に進んでいることにより厳しい経営がいられています。

このような厳しい状況を何とか打開しながら経営の立て直しを図るため、役職員の協力のもと営業努力と経費削減に努めることとしています。

このため、当地の豊かな自然や地域の歴史・文化の伝統を活かしながら一層の誘客活動に努め、都市交流事業の更なる推進を図り、収入の増加につなげていきます。

また、地域バスの運行業務や吉川観光協会の事務、尾神岳スカイスポーツエリアの管理など、また、一方ではスカイトピア遊ランドが市の指定避難所を兼ねた指定緊急避難場所として指定されていること等を鑑み、地域住民の安全・安心にも配慮するなど、引き続き地域の諸課題にも対応しつつ各種事業等を積極的に展開し、雇用の場の創出と地域の活性化を図りながら地域福祉の向上にも貢献していきます。

当地域では、過疎化が進み人口流出が続く中、特に高齢化が進み不況感が戻らない中、平成26年4月からの消費税率アップの影響に加え、本年秋からの更なる消費税率アップが実施されることや主たる産業の地域農業の先行き不透明感等を考えると、当地の観光産業には一層厳しさが増すものと思われます。

当社としては、こうした影響等についても充分配意しつつ、一方では、積極的な取り組みが必要であると考えています。具体的には、次のような事業等を展開しながら雇用の拡大と健全経営に努め、吉川区内における地域産業の重要拠点の一つとしての確立を目指していきます。

(1) 各種交流事業の展開

棚田オーナー事業やそばオーナー事業を継続するとともに、新しい取り組みなどについても検討を重ねていきます。また、市や諸団体等が行う交流事業や体験事業の拠点施設としての自覚を持ち、市並びに諸団体や地域の皆さんと連携しながら積極的に事業参画し、誘客に結びつけていきます。

(2) スカイスポーツ基地との共生

尾神岳は、スカイスポーツ基地のメッカとして知られ、J1大会としての新

潟県知事杯や上越市長杯のパラグライダー大会に加え吉川観光協会長杯、スチュデントカップなどのパラグライダー大会が毎年開催されてきています。

昨年度からJ2大会も計画に組み込まれるなど尾神岳スカイスポーツエリアの振興を図りつつ、全国各地から集まるスカイスポーツ愛好者を介したPR等による誘客にも努めていきます。

また、本年も春と秋に開催される上越市長杯と新潟県知事杯のパラグライダー大会では上越市地域活動支援事業による「活性化特別事業」も計画されているため、その相乗効果を期待するとともに、フライヤーの育成やパラグライダーの初心者体験、観光フライトの推進にも協力していきます。

(3) 農業体験や各種体験事業の展開

農業体験はもちろんのこと、そば打ち、押し寿司、ちまき、アイスクリーム、米粉ピザなどの食体験や草木染め、竹細工、わら細工、あけびのつる細工、自然観察など各種体験事業のさらなる拡充と積極的な取り組みを推進していきます。

また、引き続き越後田舎体験関係事業にも積極的にかかわり、地域との連携を深めながら誘客に結び付けていきます。

特に、吉川ならではの「パラグライダー初心者体験」を越後田舎体験事業の一環としてメニュー化を推進し、誘客に努めていきます。

(4) 各種イベント等の取り組み

市並びに各種団体の企画された事業やイベント等に積極的に参加するとともに、通年誘客の一環として独自のイベントなども開催する。

春は「山菜祭り」や「山菜採りツアー」、夏は「焼き肉大会」、秋は「新そば祭り」、冬は「雪祭り」、その他、分館単位の高齢者を対象とした「ふれあいお楽しみ会」、「冬季限定料理メニュー特別企画コース（1月～3月間）」「よしかわ杜氏の郷の新酒を楽しむ会」などの各種イベントを積極的に取り組んでいきます。

(5) 経営の改善について

① 職員の研修機会を増やし、接客サービスの拡充等に努めていきます。

② 食材等の仕入れの点検を日常的に行い仕入ロスの減少に努め、節電や節水等に配慮し経費の削減に努めていきます。

(6) その他の取り組み

- ① 休憩に訪れる日帰り客へのサービス向上のため、昼食メニュー等の更なる拡充を図っていきます。
- ② 地域との連携により、地場産品や特産品、山菜などの「お土産」や売店業務を拡充していきます。
- ③ 特徴ある食材や地場産品の確保に努め、お客様のニーズをつかみながら地域料理（田舎料理・郷土料理等）を主体に提供していきます。
- ④ 尾神岳を訪れてくれる人達が、ゆっくりと自然に親しむことができるような森林空間として「遊歩道」や「山頂広場」「探索の森」「遊休地活用型園地」の整備などを継続して進めていきます。
- ⑤ 越後田舎体験事業や各種オーナー事業を進める上で、農地問題や農業の担い手不足等の地域課題が多く見受けられ、また、遊ランド周辺の農地の荒廃が急速に進むなど、環境問題も含め体験型の観光農場の整備等についても、地域の皆さんから協力していただきながら進めていきます。
- ⑥ IT化社会に対応するため、ホームページや各種PRサイト等を有効に活用し、より一層の誘客活動に努めていきます。
- ⑦ お風呂に鉱泉を利用した温泉サービスの試行を続け、地域資源の活用を図りながら健全経営に結び付けていきます。
- ⑧ 関係団体（尾神岳ファンクラブ、吉川おどり隊、よしかわ里山クラブ、尾神岳エリア委員会等）との連携を一層深め、誘客につなげ地域の活性化にも結びつけていきます。
- ⑨ 地元の吉川ゲートボール協会の協力により、定着化が図られている「遊ランド杯ゲートボール大会」を中心に他の大会等も誘致し、誘客に結びつけていきます。
- ⑩ 道の駅よしかわ杜氏の郷のブースを、アンテナショップとして活用を図りながら収入の増加につなげるように努めていきます。

(7) 今後のテーマ

当社では、その経営状態からして役職員の待遇等については劣悪な状況を余儀なくされてきています。今後は、こうした面での改善も図りながら地域雇用の安定化を進めていくことをテーマとしていきます。

第21期 収支計画

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(収入の部)

単位:千円

科目	本年度計画額	前年度計画額	増 減	備 考
利 用 料 金	31,000	30,660	340	入浴(日帰り)、宿泊、体験交流、食堂、スライダール等の利用料金
受 託 料	8,224	9,040	-816	指定管理者受託料
雑 収 入	5,376	4,800	576	売店、自動販売機売上、自主事業収入
合 計	44,600	44,500	100	

(支出の部)

科目	本年度計画額	前年度計画額	増 減	備 考
給 料 賃 金	21,190	21,150	40	
法 定 福 利 費	1,060	1,050	10	社会保険料、労働保険料
福 利 厚 生 費	300	300	0	通勤手当、職員研修費
租 税 公 課	1,270	1,250	20	法人税・住民税・消費税
諸 会 費	100	100	0	商工会費、食品衛生会費
仕 入	10,580	10,550	30	
水 道 光 熱 費	4,300	4,300	0	水道、電気、ガス代
旅 費 交 通 費	30	30	0	
通 信 費	540	540	0	電話代、切手代等
広 告 宣 伝 費	150	150	0	広告掲載料、HP作成費等
接 待 交 際 費	50	50	0	
損 害 保 険 料	50	50	0	火災保険、食中毒保険
修 繕 費	270	270	0	設備修繕料
消 耗 品 費	830	830	0	消耗品等
減 価 償 却 費	430	430	0	
車 両 掛 費	1,070	1,070	0	車燃料代等
支 払 手 数 料	1,200	1,200	0	記帳指導料等
環 境 衛 生 費	580	580	0	
設 備 保 守 料	340	340	0	浄化槽、消防設備等
賃 借 料	80	80	0	車両、設備リース
雑 費	100	100	0	テレビ受信料他
予 備 費	80	80	0	
合 計	44,600	44,500	100	